

2020 年度メディアセンター事業計画

1. 組織目的

立教大学の教育研究情報基盤を構築運用する。

2. 事業方針

ICT¹基盤の整備と運用、及び、学習・教育・研究活動における ICT 利活用支援を通して、本学の教育効果と研究成果の向上に努める。

3. 事業計画

(1). パソコンの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① パソコン 約 3200 台 (池袋・新座キャンパスのパソコン教室、教卓 PC、ラーニングスペース PC 等)
- ② ノート PC 約 1030 台の貸出 (池袋・新座キャンパスの 7 か所)
- ③ コンピュータ教室
- ④ メーザー・ラーニング・コモنز

(2). ネットワークの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① インターネット WAN 接続
- ② 有線・無線 LAN
- ③ キャンパス内の公衆無線 LAN

(3). 一般教室マルチメディア機器の整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① 一般教室 (池袋 227 教室、新座 89 教室) マルチメディア機器
- ② 遠隔授業 (池袋—新座間) 対応設備
- ③ 8 号館 PC 教室入口ディスプレイ
- ④ 会議室のマルチメディア機器
- ⑤ 授業、イベント収録配信支援
- ⑥ 教員向け貸出機材 (授業用ノート PC 約 100 台、ビデオカメラ等)
- ⑦ ビデオカメラについては授業として学生が撮影、編集、発表をするための補助。また記録保存、フィードバック用として録画ダビングサービスを行う。

¹ ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

(4). V-Campus のインフラ整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① サーバ基盤
- ② セキュリティ対策システム
- ③ 認証システム
- ④ 学内ホスティングシステム
- ⑤ 学術認証フェデレーション

(5). 教育研究用システムの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① メール、ML、Web システム
- ② 立教大学 Web サーバ (広報課 Web サイト)
- ③ 図書館システムサーバ
- ④ ポータルサーバ
- ⑤ 授業支援システム (全授業対象)
- ⑥ 全カリ英語研究室：ATR CALL BRIX、スーパー英語 (REO)、Reallyenglish
- ⑦ 社会情報教育研究センター：社会調査データアーカイブ (RUDA)、社会調査士証明書発行システムサーバ
- ⑧ 共生社会研究センター：管理用サーバ、検索用サーバ
- ⑨ 経営学部ポートフォリオサーバ
- ⑩ 全学共通カリキュラム 英語副専攻システムサーバ
- ⑪ 教員個人サーバ (教員 3 名)
- ⑫ 教育用仮想サーバ基盤の提供 (教員 1 名)
- ⑬ 図書館・法務研究科院生室用オンデマンドプリンタサーバ
- ⑭ 立教時間サーバ
- ⑮ 大学情報データベース
- ⑯ モバイル環境の整備による、学内コミュニケーションツールの充実

(6). コンテンツの整備と運用

- ① 学内向けホームページおよび自動翻訳ツールを運用する。
- ② 「オンデマンド授業」システム (対象授業 8 科目) を運用する。
- ③ 学内公式 SNS の管理 (新規・継続申請受付および承認) を行う。

(7). 更新・導入関係

以下の導入・更新を行う。

- ① V-Campus システムの更新

- ② SharePoint・Office365・Zoom 運用サポート
- ③ 池袋キャンパスコアスイッチ更改およびサーバ室移転工事

(8). その他

- ① 各種ヘルプデスクシステムを活用しサービス改善に活かす。
- ② ITIL²運用をメディアセンターの他のシステム運用に拡張する。
- ③ 「私立大学情報教育協会」「大学 ICT 推進協議会」の連絡事務局を行う。
- ④ 「大学情報サミット」活動を行う。
- ⑤ 「社会情報教育研究センター」事務局業務を行う。

² ITIL(Information Technology Infrastructure Library) IT サービスマネジメントのプロセス、品質が組織に採用されているかを証明するもの。英国規格 BS15000。欧米では、政府の調達基準の 1 つ。システム運用のアウトソースを図る際の品質の評価基準としても機能。